

目 次

I . 和歌山大学南紀熊野サテライトについて	1
1 . 南紀熊野サテライトの紹介	1
2 . 2つの受講制度	2
II . 大学院科目等履修生の募集	4
1 . 出願および履修願の手続き	4
2 . 出願書類等	
㉠南紀熊野サテライト大学院科目等履修生願書	6
㉡履歴書	7
㉢令和5年度前期検定料の納入について	8
㉣履修願	9
III . 学部開放授業受講者の募集	10
1 . 聴講申請の手続き	10
2 . 申請書類等	
㉤学部開放授業受講者聴講申請書(新規聴講生用)	12
㉥学部開放授業聴講申請書(登録有効期間中の聴講生用)	13
㉦令和5年度前期学部開放授業の聴講料の納入について	14
㉧学部開放授業申請書類受付通知はがき	
IV . 令和5年度前期 南紀熊野サテライト開講授業	15
1 . 大学院授業科目	15
2 . 学部授業科目	17

I. 和歌山大学南紀熊野サテライトについて

1. 南紀熊野サテライトの紹介

- 和歌山大学南紀熊野サテライトは、大学の研究・教育機能を活用して地域づくりに貢献する「大学の地域ステーション」をめざしています。
- 地域社会と共に育ちあう、創造的な教育、研究、社会連携活動を行います。

和歌山大学南紀熊野サテライトは、地域の現実に対峙し、4つの視点から地域社会と共に育つ、創造的な教育・研究、社会連携活動をめざします。

1. 地域の知の拠点として
2. 大学の知的財産は地域資源
3. 地域・産・学・官みなが共に成長する仕組みづくり
4. 地域知の可能性を引き出す

和歌山大学は和歌山県との連携にもとづき、平成17年4月、県立情報交流センターBig・uに南紀熊野サテライト（設置当時は紀南サテライト）を開設しました。

南紀熊野サテライトは全国の地域型サテライトのさきがけであり、下記の事業を行っています。

1. 地域住民の多様な教育ニーズに対応した特色ある高等教育の実施
2. 地域研究の推進および地域の課題をふまえた生涯学習の機会提供
3. 地域自治体、企業等と連携した地域活性化に資する事業の実施
4. 高校を含めた地域に対する大学情報の発信

地域課題に沿った科目を開講



大学院科目の様子



機材を使った演習の様子



学部開放科目の様子



「癒しとメンタルヘルス」現地実習の様子

2. 2つの受講制度

和歌山大学には、社会人等を対象とする「大学院科目等履修制度」と「学部開放授業受講制度」(※高校生は「高校生を対象とした大学授業の公開制度」)があり、それらを南紀熊野サテライトで利用できます。令和5年度前期に南紀熊野サテライトで受講できる制度の概要は以下のとおりです。

	大学院科目等履修制度	学部開放授業受講制度
区 分	大学院科目等履修生	学部開放授業受講者
資 格	大学を卒業した者又は学校教育法施行規則第155条の規定により大学を卒業した者と同程度の学力があると認められる者	18歳以上 ※高校生は「高校生を対象とした大学授業の公開制度」で聴講が可能です。
選 考	願書および履歴書等による選考	なし(年齢確認のみ)
成績評価	あり	なし
単位認定	あり(成績評価「合格」の者)	なし
費 用	検定料 5,000円 入学金 10,000円 授業料 14,400円(1単位につき) ※令和4年度より「履修できる期間」の制度廃止に伴い、履修期間(1学期又は1年)毎に検定料と入学金及び授業料を徴収します。 ただし経過措置として、履修できる期間の有効期限が2023年4月1日以降の科目等履修生は、有効期限までは検定料・入学金は不要です。	聴講料 11,000円(1科目) ※令和4年度より登録料の制度が廃止されました。 ただし経過措置として、登録期間の有効期限が2023年4月1日以降の開放授業生については、有効期限までは聴講料は、10,000円(1科目)となります。
経済学研究科修士課程への進学	【詳しくは経済学研究科修士課程学生募集要項をご覧ください。】 科目等履修生として修得した単位は、入学後に修得した単位として18単位まで認められる場合があります。	

大学院科目等履修制度とは

【概要】

- 大学院の授業を原則、土曜日の日中を中心に、Big・u(田辺市)で開講します。
フィールドワーク(現地調査)を行う授業もあります。保険料や交通費等は各自の負担となります。
- 入学資格は、大学を卒業した者又は学校教育法施行規則第155条の規定により、大学を卒業した者と同程度の学力があると認められる者で、書類審査等による選考があります。
- 科目等履修生として入学し、受講後に合格判定を受ければ、所定の単位を取得できます。
- 本学(栄谷キャンパス)および岸和田サテライトで開講される大学院授業についても、科目等履修生として受講することができます。

- 1学期毎(通年科目は1年毎)に履修申請が必要です。
- 令和4年度前期より履修できる期間の制度(履修期間)が廃止され申請制度が変更されました。

【履修可能期間】

○初回の受講時に検定料と入学料を納入すると、「履修できる期間」として入学から2年間は、その後に受講しても検定料と入学料を免除してきましたが、令和4年度前期より「履修できる期間」の制度を廃止しました。

ただし経過措置として、履修できる期間の有効期限が2023年4月1日以降の科目等履修生については、有効期限までは今までどおりとします。この場合、所定の履修願による手続きは必要ですが、検定料・入学料は必要ありません。

【和歌山大学大学院経済学研究科修士課程への進学】

令和3年度から経済学研究科改組に伴い、プログラム制となっています。経済学研究科に進学希望の方は、出願前に修了要件等について5ページの問い合わせ先までご照会ください。

○既修得単位認定制度

南紀熊野サテライトの科目等履修生が本学大学院経済学研究科に入学した場合、本サテライトでの取得単位を含め、入学前に本学および岸和田サテライトの大学院科目等履修生として修得した単位は、18単位を上限として認められることがあります。

○社会人短期履修制度

本研究科修士課程社会人特別選抜の出願資格を満たし、本研究科科目等履修生として6単位以上を修得していれば、通常は修了に2年かかる修士課程を、最短1年で修了することもできます。

※改組に伴い令和3年度以降は、「南紀熊野サテライトコース」を利用することはできなくなりました。

学部開放授業受講制度とは

【概要】

○学部開放授業(連携展開科目)を土曜日の日中を中心にBig・u(田辺市)他で開講します。18歳以上(高校生は2ページをご覧ください。)であれば受講者として登録できます。試験等による成績評価や単位認定もないため、関心のある授業を気軽に受講していただけます。

○令和4年度より、申請制度が変更されました。(登録料制度の廃止)

【受講可能期間】

○初回聴講からの4年間で「登録期間」として以降の登録料を免除してきましたが、令和4年度より登録料を免除する制度を廃止しました。

ただし経過措置として、登録期間の有効期限が2023年4月1日以降の開放授業生については、有効期限までは今までどおりとします。この場合、1科目あたりの聴講料は10,000円となります。

II. 大学院科目等履修生の募集

1. 出願および履修願の手続き

募集科目

科目名、授業内容、開講日時等については、15ページ以降をご参照ください。

※この募集要項に掲載のシラバスは後日変更となる可能性があります。正式なシラバスは和歌山大学のホームページから確認してください。

※令和5年度前期の授業は、対面授業を行いますが、以下の場合に遠隔授業(オンライン)に切り替えます。

- ・自治体に県域をまたぐ移動が自粛、規制されている場合、教員の出講を取消し遠隔対応にします。
- ・教員が新型コロナウイルスに罹患または濃厚接触者となり、自粛期間に授業が該当する場合は授業を延期して補講とします。

(オンライン授業に切り替わった際に必要な受信端末やネット環境は、各自で準備して下さい。)

(各授業では、授業内容を録画することがあります。)

募集人数

各科目とも、若干名

出願期間・出願方法

令和5年2月20日(月)～2月27日(月)(必着)

出願書類等を学務課学部支援室経済学部係宛に郵送してください。その際、封筒の表に「南紀熊野サテライト大学院科目等履修生出願書類在中」と朱書きし、「特定記録」で送付してください。

【新規に出願される方】

○入学資格

①大学を卒業した者

②学校教育法施行規則第155条の規定により、大学を卒業した者と同等以上の学力があると認められる者

※入学資格について不明な点がある方は、検定料振込前に学務課学部支援室経済学部係にお問い合わせください。振込後の返金はいたしかねます。

※入学資格②による志願者は、事前に審査を行いますので、出願開始1ヵ月前までに経済学部係に申し出をしてください。

○検定料

5,000円

○出願書類

「南紀熊野サテライト大学院科目等履修生願書」(用紙⑦)

振込依頼書(用紙⑧)を利用して最寄りの銀行等にて検定料を振込み、振込依頼書のC票「振込金受付証明書」を願書の所定の位置に貼付してください。

「履歴書」(用紙④)

大学等の卒業(修了)証明書(卒業・修了見込の方は見込証明書)

証明書を卒業大学等から取り寄せ、履歴書に添付してください。

改姓・改名の場合は、戸籍抄本等それが分かる書類を添付してください。

返信用封筒(結果通知用)

角型2号封筒(100g以内)に出願者の郵便番号・住所・氏名を記入し、簡易書留で返送できるよう必要な額の切手を貼ってください。

※提出する書類は、すべて原本とし、コピーは認めません。

【過去に科目等履修生であった方】

過去に科目等履修生であった方が出願される場合は、新規出願者の扱いとなります。上記の【新規に出願される方】と同様の手続きをお取りください。(注1)

【現在、科目等履修生である方】

令和3年度後期に登録した方は、令和5年度前期まで履修期間が有効です。

A. 履修可能期間中の方

○出願書類

「履修願」(用紙⑤)

「科目等履修生履修可能期限証(カード)」のコピーを所定の位置に貼付してください。

返信用封筒(結果通知用)

角型2号封筒(100g以内)に出願者の郵便番号・住所・氏名を記入し、簡易書留で返送できるよう必要な額の切手を貼ってください。

B. 有効期限が2023年3月31日の方

有効期限が2023年3月31日の方が出願される場合は、新規出願者の扱いとなります。上記の【新規に出願される方】と同様の手続きをお取りください。(注1)

注1：卒業(修了)証明書の原本は、過去に提出されている場合は、その証明書のコピーあるいは過去に発行された科目等履修生履修可能期限証(カード)のコピーでもかまいません。

選考および結果通知

提出された願書および履歴書等で審査を行います。選考結果は、3月14日(火)までに返信用封筒にて郵送します。届いていない場合は、下記問い合わせ先までご連絡ください。合格者には入学手続書類を同封します。

入学手続期間・手続方法

令和5年3月15日(水)～3月16日(木)(必着)

手続書類を学務課学部支援室経済学部係まで郵送(期限必着)してください。詳細は入学手続書類に記載します。

入学料および授業料

入学料 10,000円

授業料 14,400円(1単位につき)

詳細は、入学手続書類に記載します。

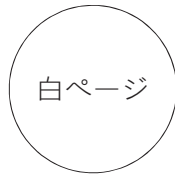
※所定の期日までに授業料が納付されなかった場合は除籍となります。(入学手続後のキャンセルについては入学手続書類を確認してください。)

その他

- ・出願後、授業科目の開講日時・場所・担当教員等に変更等が生じる場合がありますので留意してください。なお、これらの変更により受講が困難になった場合は、問い合わせ先までご相談ください。
- ・科目等履修生は通学定期の購入及び学割の利用はできません。
- ・障害を有する志願者で履修上特別な配慮を必要とする場合は、出願前に問い合わせ先までご相談ください。

出願先・問い合わせ先

窓 口	住 所	電話番号・電子メール
和歌山大学 学務課学部支援室経済学部係	〒640-8510 和歌山市栄谷930	073-457-7805 ecogakumu@ml.wakayama-u.ac.jp



南紀熊野サテライト大学院科目等履修生願書

和歌山大学長 殿

氏名(署名) _____

下記の科目を科目等履修生として履修したいので、入学を許可願います。

記

履修希望科目

希望科目	科 目 名	単位数
<input type="checkbox"/>	民法	1
<input type="checkbox"/>	経済立地論	1

(: 該当するものに「レ」を記入してください。)

履修期間の開始 令和5年4月1日

履修科目数	科目
-------	----

履修総単位数	単位
--------	----

5,000円

新規科目等履修生
振込金受付証明書
貼り付け欄

付属の振込依頼書(用紙㊟)を利用し、最寄りの銀行等にて振込後、C票(振込依頼書の左端)をお貼りください。

振込後の返金はいたしかねます。

取扱金融機関の収納印のないものは無効です。

履 歴 書

ふりがな 氏 名		男 ・ 女	写 真 欄 (3×4 cm)
生年月日	昭和 平成 (西暦	年	月
		日	生
現住所	(〒 -)		
	TEL.() -		
日中の連絡先 (勤務先・携帯電話等)	(〒 -)		
	TEL.() -		
	E-mail.		
最終学歴 卒業証明書添付要		入 学	
			年 月
		卒 業	
	(年制)		年 月
勤 務 先 (在職者のみ)			年 月～

令和5年度前期検定料の納入について（南紀熊野サテライト大学院科目等履修生用）

① 出願資格について確認を必要とする方は、学務課学部支援室経済学部係(073-457-7805)へ確認後振込むようにしてください。

(出願資格の欠格が多々見受けられますので、特に注意してください。)

② この振込依頼書に必要事項を記入のうえ、「電信扱」が利用できる金融機関窓口から振込んでください。

※ ゆうちょ銀行からは振込みできません。

※ A T M (現金自動預払機)、携帯電話、パソコン等からは振込まないでください。

※ 振込手数料は、依頼人負担となります。

③ 「振込金受付証明書(C票)」と「振込金領収書(B票)」は、金融機関の取納印があることを確認のうえ、受け取ってください。

④ 「振込金受付証明書(C票)」は、願書の所定欄に貼付してください。

⑤ 「振込金領収書(B票)」は本人の控えとして、大切に保管してください。

〈振込依頼書等記入要領〉

① 太線の枠内は必ず記入してください。

② 志願者氏名は、必ず志願者本人の「氏名、フリガナ」を記入してください。



切り取って、金融機関にお出しください。

C 票 振込金受付証明書

令和5年度前期入学検定料
(願書所定欄貼付用)

依頼日	令和	年	月	日
金額	5,000円			
振込先銀行	紀陽銀行 紀の川支店			
受取人	和歌山大学			
フリガナ				
志願者氏名				

取納印のない場合は、無効となります。

取納印

(ご依頼人→大学)

B 票 振込金領収書(本人保存)

令和5年度前期入学検定料

依頼日	令和	年	月	日
金額	5,000円			
振込先銀行	紀陽銀行紀の川支店			
普通預金	0766935			
口座名	和歌山大学			
フリガナ				
志願者氏名				
振込手数料	円			

取納印

(取扱店→ご依頼人)

切り離しのうえ願書の所定欄に貼付して提出してください。

A 票 振込依頼書

令和5年度前期入学検定料

依頼日	令和	年	月	日
振込先銀行	紀陽銀行 紀の川支店 (普)			
口座名	ワカヤマダイガク 和歌山大学			
整理番号	5	6	1	
フリガナ				
志願者氏名				
住所				
振込指定	0766935			
金額	5,000円			
電信扱	円			
手数料	円			
依頼人				
ご依頼人				

取納印

* 金融機関へのお願い

1. 整理番号、志願者氏名(フリガナ)は必ず打電してください。
2. B票・C票は、押印のうえ、必ず依頼人へお返しください。

(取扱店保存)

履 修 願

和歌山大学長 殿

学 生 番 号 _____

氏 名 (署 名) _____

下記の科目を履修したいので、許可くださるようお願いいたします。

記

履修希望科目

希望科目	科 目 名	単位数
<input type="checkbox"/>	民法	1
<input type="checkbox"/>	経済立地論	1

(□：該当するものに「レ」を記入してください。)

※有効期限が2023年3月31日の方は、用紙㊦を使用してください。

有効期限（西暦）20 年 月 日

(科目等履修生履修可能期限証(カード)を参照ください。)

「科目等履修生履修可能期限証(カード)」
のコピー貼付欄

III. 学部開放授業受講者の募集

1. 聴講申請の手続き

聴講資格

18歳以上(高校生は除く)であれば、どなたでも可能です。(受講申請に際しての審査や単位はありません。)

※高校生は2ページをご覧ください。

募集科目および募集人数・会場

※この募集要項に掲載のシラバスは後日変更となる可能性があります。正式なシラバスは和歌山大学のホームページから確認してください。

※令和5年度前期の授業は、対面授業を行いますが、以下の場合に遠隔授業(オンライン)に切り替えます。

- ・自治体に県域をまたぐ移動が自粛、規制されている場合、教員の出講を取り止め、遠隔対応にします。
- ・教員が新型コロナウイルスに罹患または濃厚接触者となり、行動自粛期間に授業が該当する場合は、授業を延期して補講とします。

(オンライン授業に切り替わった際に必要な受信端末やネット環境は、各自で準備して下さい。)

※授業によっては、授業内容を録画することがありますので、ご了承ください。

「南紀熊野の自然」

(15名程度)……田辺市会場他

「南紀熊野ジオパークの自然と風土」

(30名程度)……串本会場

「地域経営資源論」

(30名程度)……新宮会場

「地域づくりの理論と実践D」(通年科目) ※開講できない場合があります。

(15名程度)……田辺市会場 <秋津野ガルテン(田辺市上秋津4558-8)>

※「地域づくりの理論と実践D」の開講の有無は、2月中旬に決定される見通しです。

決定された時点で南紀熊野サテライトホームページ(<https://www.wakayama-u.ac.jp/kii-plus/nanki-kumano/>)等において発表します。開講の有無を確認後、申請してください。

※お問い合わせは、会場ではなく次頁の和歌山大学南紀熊野サテライト迄お願いします。

申請期間・方法

令和5年4月6日(木)～4月21日(金)(必着)

以下「必要となる書類等」を参考に、申請書類を和歌山大学南紀熊野サテライト宛に郵送してください。

その際、封筒の表に「学部開放授業書類在中」と朱書きし、「特定記録」で送付してください。

※持参による申請は、4月21日(金)に限り、10時から17時まで受け付けます。

※必ず上記申請期間内に手続き(振込み等)してください。

(申請期間より前(4月6日より前)の申請(振込み等)は、正しく登録されないことがあります。)

(注)学部開放授業の開講日は、重複する日程がありますので、複数科目を受講される場合は、ご注意ください。

必要となる書類等

1. はじめて聴講申請される方 2. 登録の有効期限が2023年3月31日以前の方	2023年4月1日現在、登録有効期間中の方				
<input type="checkbox"/> 学部開放授業受講者聴講申請書 (用紙㊶)	<input type="checkbox"/> 学部開放授業聴講申請書<開放授業登録済者用> (用紙㊷)				
<input type="checkbox"/> <table border="0"> <tr> <td>・聴講料</td> <td> 11,000円 (1科目の場合) 22,000円 (2科目の場合) 33,000円 (3科目の場合) 44,000円 (4科目の場合) </td> </tr> </table> <p>→最寄りの銀行等にて振込依頼書(用紙㊸)により合計額を振込んだうえ、「C票振込金受付証明書」を用紙㊶の所定の位置に貼付してください。</p>	・聴講料	11,000円 (1科目の場合) 22,000円 (2科目の場合) 33,000円 (3科目の場合) 44,000円 (4科目の場合)	<input type="checkbox"/> <table border="0"> <tr> <td>・聴講料</td> <td> 10,000円 (1科目の場合) 20,000円 (2科目の場合) 30,000円 (3科目の場合) 40,000円 (4科目の場合) </td> </tr> </table> <p>→最寄りの銀行等にて振込依頼書(用紙㊸)により合計額を振込んだうえ、「C票振込金受付証明書」を用紙㊷の所定の位置に貼付してください。</p>	・聴講料	10,000円 (1科目の場合) 20,000円 (2科目の場合) 30,000円 (3科目の場合) 40,000円 (4科目の場合)
・聴講料	11,000円 (1科目の場合) 22,000円 (2科目の場合) 33,000円 (3科目の場合) 44,000円 (4科目の場合)				
・聴講料	10,000円 (1科目の場合) 20,000円 (2科目の場合) 30,000円 (3科目の場合) 40,000円 (4科目の場合)				
<input type="checkbox"/> 申請書類受付通知はがき㊹ 郵便番号、住所、氏名を記入し郵送分の切手を貼付して、申請書類とともに必ず同封してください。切手のないものは送付しません。 ※持参による申請の場合は、はがきは不要です。	<input type="checkbox"/> 申請書類受付通知はがき㊹ 郵便番号、住所、氏名を記入し郵送分の切手を貼付して、申請書類とともに必ず同封してください。切手のないものは送付しません。 ※持参による申請の場合は、はがきは不要です。				

※受講登録後の払戻しはできません。

高校生を対象とした大学授業の公開制度(P.2)による高校生の受講料は別途設定されております。

和歌山大学ホームページよりご確認ください。

※改定があった場合は、改定後の金額とします。

※フィールドワークに伴う保険料、交通費等諸費用は各自のご負担となります。

申請書類受付通知

申請書類受理後、お送りいただきました受付通知はがきを送付します。募集期間終了日(4月21日)から3～4日過ぎても受理通知はがきが届かない場合は、下記窓口へお問い合わせください。

受講通知

授業開始日の10日前頃までに、授業案内(教室等お知らせ)を送付します。

登録および申請先・問い合わせ先

窓 口	住 所	電話番号・電子メール
和歌山大学 南紀熊野サテライト	〒646-0011 田辺市新庄町3353-9-102 和歌山県立情報交流センターBig・u内	0739-23-3977 (fax 0739-23-3978) nankuma@ml.wakayama-u.ac.jp

※開室時間 10:00～17:00 (日曜・月曜・祝日休み)

なんらかの支援または情報保障が必要な方は、3月31日(金)までにご連絡ください。

学部開放授業受講者聴講申請書

和歌山大学長 殿

写真欄
(3 × 4 cm)

最近3ヶ月以内に
撮影の上半身正面
脱帽とする

申請者

フリガナ
氏名(署名) _____
生年月日(西暦) _____ 年 _____ 月 _____ 日(男・女)
現住所(〒 _____)

電話番号(_____) _____ 職業 _____
携帯電話番号 _____
E-mail _____

保護者(※申請者が未成年の場合に必要)

氏名(署名) _____
申請者との続柄(_____)

※楷書で丁寧に自書すること。
※氏名の漢字は、登録者証に使用できる漢字以外については代替の文字(カタカナを含む)となります。

下記の開放授業の聴講を希望しますので、申請します。
記

希望科目	聴講希望科目名
<input type="checkbox"/>	南紀熊野の自然
<input type="checkbox"/>	南紀熊野ジオパークの自然と風土
<input type="checkbox"/>	地域経営資源論
<input type="checkbox"/>	地域づくりの理論と実践D

※開講日が重複する日程がありますので、複数科目を受講される場合はご注意ください。

以下、大学記入欄

学生番号: _____
発行年月日: _____ 年 _____ 月 _____ 日
有効期限: _____ 年 _____ 月 _____ 日

1科目 11,000円
2科目 22,000円
3科目 33,000円
4科目 44,000円

新規聴講者
振込金受付証明書
貼り付け欄

付属の振込依頼書(用紙㊸)を利用し、最寄りの銀行等にて振込後、C票(振込依頼書の左端)をお貼りください。

振込後の返金はいたしかねます。

取扱金融機関の収納印のないものは無効です。

※ATM又はネットバンキングで振込まれた方は、下の□に✓を記入して下さい。

- ATMにて振込
- ネットバンキングにて振込

学部開放授業聴講申請書 (開放授業登録済者用)

和歌山大学長 殿

申請者

学生番号 _____

氏名(署名) _____

生年月日(西暦) _____ 年 _____ 月 _____ 日 (男・女)

現住所(〒 _____)

電話番号(_____) _____ 職業 _____

携帯電話番号 _____ - _____ - _____

E-mail _____

保護者 (※申請者が未成年の場合に必要)

氏名(署名) _____

申請者との続柄 (_____)

下記の開放授業の聴講を希望しますので、申請します。

記

希望科目	聴講希望科目名
<input type="checkbox"/>	南紀熊野の自然
<input type="checkbox"/>	南紀熊野ジオパークの自然と風土
<input type="checkbox"/>	地域経営資源論
<input type="checkbox"/>	地域づくりの理論と実践D

※開講日が重複する日程がありますので、複数科目を受講される場合はご注意ください。

有効期限(西暦) 20 _____ 年 _____ 月 _____ 日

(学部開放授業登録者証を参照ください。)

「学部開放授業登録者証」のコピー貼付欄

- 1 科目 10,000円
- 2 科目 20,000円
- 3 科目 30,000円
- 4 科目 40,000円

登録期間中の聴講者 振込金受付証明書 貼り付け欄

付属の振込依頼書(用紙㊦)を利用し、最寄りの銀行等にて振込後、C票(振込依頼書の左端)をお貼りください。

振込後の返金はいたしかねます。

取扱金融機関の収納印のないものは無効です。

※ATM又はネットバンキングで振込まれた方は、下の□に✓を記入して下さい。

- ATMにて振込
- ネットバンキングにて振込

令和5年度前期学部開放授業の聴講料の納入について（南紀熊野サテライト用）

費用は、新規受講申請者(用紙④)での申請)は聴講料11,000円(1科目につき)となります。
更新受講申請者(用紙⑤)での申請)は聴講料10,000円(1科目につき)となります。

①この振込依頼書に必要な事項を記入のうえ、「電信扱」が利用できる金融機関の窓口から振込んでください。

※ゆうちょ銀行からは振込みできません。

※ATM(現金自動預払機)・ネットバンキングでも振込み可能ですが、その際は下記の振込依頼書に記載の銀行口座に、振込依頼人欄には整理番号「69」と氏名を記入の上(例 69 ワダイ タロウ)、金額に過不足のないようお願いください。

※振込手数料は、依頼人負担となります。

②「振込金受付証明書(C票)」は、申請書の所定欄に貼付してください。

③「振込金領収書(B票)」は本人の控えとして、大切に保管してください。

〈振込依頼書等記入要領〉

- ① 太線の枠内は必ず記入してください。
- ② A票・B票・C票の金額欄は、聴講料の合計を記入してください。
- ③ 受講者氏名は、必ず受講生本人の「氏名、フリガナ」を記入してください。

切り取って、金融機関にお出しください。

C票 振込金受付証明書

令和5年度前期聴講料
(申請書所定欄貼付用)

依頼日	令和	年	月	日
金額	円			
振込先銀行	紀陽銀行 紀の川支店			
受取人	和歌山大学			
フリガナ				
受講者氏名				

収納印のない場合は、無効となります。

収 納 印

(ご依頼人→大学)

B票 振込金領収書(本人保存)

令和5年度前期聴講料

依頼日	令和	年	月	日
金額	円			
振込先銀行	紀陽銀行紀の川支店			
受取人	普通預金	0766935		
フリガナ	和歌山大学			
受講者氏名				
振込手数料				円

収 納 印

(取扱店→ご依頼人)

A票 振込依頼書

令和5年度前期聴講料

依頼日	令和	年	月	日
振込先銀行	紀陽銀行 紀の川支店(普)			
口座名	ワカヤマダイガク 和歌山大学			
整理番号	69			
フリガナ				
受講者氏名				
住所				
振込指定	0766935			
金額	円			
内	現金			
取	手数料			
依頼人負担				

収 納 印

(取扱店保存)

*金融機関へお願い

- 1. 整理番号、受講生氏名(フリガナ)は必ず打電してください。
- 2. B票・C票は、押印のうえ、必ず依頼人へお返しください。

金融機関で切り離してください。

切り離しのうえ申請書の所定欄に貼付して提出してください。

IV. 令和5年度前期 南紀熊野サテライト開講授業

1. 大学院授業科目

授業科目名 (英文表記)	民法 (Civil Law)		
単位数	1	授業形態	講義・演習
担当教員	吉田 雅章		
開講	南紀熊野サテライト (田辺市)	区分	大学院
実施日・時間	第1回 6月17日(土) 9:30~14:30	第3回 7月22日(土) 9:30~14:30	
	第2回 7月8日(土) 9:30~14:30		
<p>【授業のねらい・概要】</p> <p>本講義では、民法第3編債権の契約と不法行為を中心に近年の学説と判例について検討します。①高金利の制限に関する利息制限法と貸金業法に関する経緯、②借地借家に関する民法の賃貸借の規定と借地借家法との関係性、③不法行為の一般規定である民法709条とその特別法である製造物責任法や自動車損害賠償保障法・原子力損害の賠償に関する法律などの対比を重点項目として、民法(財産法)の法的思考方法を講義します。最近の最高裁判決の判例分析や民法学界の動向を踏まえ、もし可能ならば法的実務を扱ったDVD教材を使用することも検討します。(以上は、あくまでも建前で、初回に受講生の皆さんと話し合っ、有意義な講義になるように工夫します。使用するDVD教材としてはマンガ『特上 カバチ』を原作とするテレビドラマが、行政書士事務所を舞台にして、民法に関連する諸問題を取り扱って視聴者に理解しやすく、我々の生活に不可欠な法律、とりわけ民法を表現しているように思われます。このドラマをたたき台として受講生の皆さんに民法を考えてもらえたら幸いです。)</p> <p>【授業計画】</p> <p>第1回 オリエンテーションおよび民法総則に関連する内容</p> <p>上述しましたように、受講生のみなさんと十分に話し合っ、再構成する予定ですが、一応の計画として、民法第1編総則に関連する内容を取り上げます。具体的には、成年後見制度、法律行為に関する諸問題、表見代理と無権代理、取得時効と消滅時効などを考えています。受講生の皆さんの賛同を得られれば上記ドラマの該当回を視聴し、質疑応答したいです。</p> <p>第2回 物権法に関連する内容</p> <p>初回での話し合いに従っ、再検討する予定ですが、不動産登記と地面師、抵当権と根抵当権、現代における非典型担保、物的担保と人的担保などを取り上げるつもりです。</p> <p>第3回 債権法に関連する内容</p> <p>前回同様、初回での話し合いに従っ、再検討する予定ですが、最近の債権法改正の主な内容、典型契約でも特に重要な売買・消費貸借・賃貸借、不法行為の現代的問題などを取り上げるつもりです。</p> <p>【到達目標】</p> <p>民法、とりわけ財産法に関して十分に理解し、経済社会生活における重要な法的論点に関して学説や判例の分析ができるようになることを目標とします。</p> <p>【成績評価の方法】</p> <p>毎回の質疑応答や作成してもらいましたレジュメ等を総合評価します。</p> <p>【教科書】</p> <p>特に指定しません。適宜プリントを配布します。</p> <p>【参考書・参考文献】</p> <p>授業中に適宜紹介します。</p> <p>【履修上の注意・メッセージ】</p> <p>できる限り毎回出席して下さい。</p> <p>【履修をする上で必要な事項】</p> <p>民法に関連する現代の社会問題に関するニュースや新聞報道に注意を払って下さい。</p> <p>【授業時間外学修についての指示】</p> <p>事前学習と復習に相当な時間、さらに授業内容に関連する課題についての調査・考察に相当な時間、事前に配布するプリントの精読を中心として自主的に学習することが必要です。また、裁判の傍聴や裁判所が開催するイベントへの参加は非常に有益であると思います。</p> <p>※基本的には対面での実施を予定していますが、新型コロナウイルスの感染状況によっては、オンラインによる遠隔授業を行う場合又は授業を中止する場合があります。オンラインによる授業を行う場合に必要パソコン、ネット環境は、各自で準備してください。</p>			

授業科目名 (英文表記)	経済立地論 (Location Theories)		
単位数	1	授業形態	講義
担当教員	藤田 和史		
開講	南紀熊野サテライト (田辺市)	区分	大学院
実施日・時間	第1回 4月22日(土) 13:00~17:00	第3回 5月20日(土) 13:00~17:00	
	第2回 5月13日(土) 13:00~17:00		

【授業のねらい・概要】

この授業では、人間の経済活動とその中心である集落・都市の立地について、産業構造別、および形態別に立地の規則性に関する理論を学びます。

具体的には、テキストの輪読を通じて農業・工業・商業の各産業の立地論、そして都市・集落にかかる中心地理論について、その理論的系譜および応用分析・実態例について学んでいきます。マツカンらのテキストによる数理的なモデルにも言及しますが、極力数学的な手法は使用せずに解説することにはしたいと思います。

【授業計画】

第1回①

立地論の概略(ガイダンス)、立地論の考え方や基本的なターム、概念について解説します。

第1回②

農業立地 チューネンの「孤立国」を事例に、農業の一般的な立地法則について考えます。

第2回①

工業立地 ウェーバーの工業立地を事例に、工業立地の一般法則と実際について考察します。

第2回②

中心地理論1 クリスタラーの中心地理論を題材に、経済活動の中心地の立地について考えます。

第3回①

中心地理論2 レッシュの中心地理論を題材に、経済活動の中心地の立地について考えます。

第3回②

中心地理論と応用 クリスタラーとレッシュの理論的差異、現実への応用について考察します。

まとめ、レポート指示

【到達目標】

履修することで、次のことができることが目標です。

- ・ 農業・工業・商業の立地にかかる理論を説明できる。
- ・ 中心地理論を用いて、集落・都市など中心地の立地の規則性について説明できる。

【成績評価の方法】

提出されたレポート課題(80%)および各回の復習課題(20%)によって評価します。

【教科書】

初学者も多いため、下記のことをテキストとします。

富田 和暁 2006.『新版 地域と産業 経済地理学の基礎』原書房。(書籍絶版、オンデマンド版で購入可能)

【参考書・参考文献】

授業中に適宜紹介しますが、代表的なものは以下の通りです。

松原 宏編著 2013.『現代の立地論』古今書院。

マツカン, P. 著 黒田・徳永・中村訳 2008.『都市・地域の経済学』日本評論社。

鈴木 洋太郎 2009.『産業立地論』原書房。

【履修上の注意・メッセージ】

抽象的な議論もありますが、できるだけ平易に解説します。

【履修をする上で必要な事項】

南紀熊野サテライトで受講される方は対面で、それ以外の地域から参加される方は同時配信で授業を行います。受信するためにネットワーク環境(Wifi環境)をご準備ください。また、パソコンとTeams、そして念のためにZoomクライアントをご準備ください。さらに質疑応答する場合には、ハウリングが生じないようにイヤホンをご準備ください。

【授業時間外学修についての指示】

テキストの精読を求めます。また、テキストに記載される参考文献の精読も求めます。当該回の内容について、授業終了後にMoodleに提示する課題を通じて復習していただく必要があります。

2. 学部授業科目

授業科目名 (英文表記)	南紀熊野の自然 (Nature of Nanki Kumano)		
単位数	2 (学部生のみ)	授業形態	講義
担当教員	古賀 庸憲、此松 昌彦、高須 英樹 (非常勤)		
開講	各回で会場が違います	区分	学部開放科目
実施日・時間	第1回 5月13日(土) 11:00~16:00	第5回 7月22日(土) 11:30~16:10	
	第2回 5月27日(土) 11:00~16:00	第6回 8月19日(土) 11:00~16:00	
	第3回 6月24日(土) 11:00~16:00	各回で昼休みを40分程度とります	
	第4回 7月15日(土) 11:00~16:00		
【授業の概要・ねらい】			
この授業は串本町から田辺市にかけての沿岸部などの丘陵部、海岸付近の地形・地質、植生(粘菌を含む)、海岸周辺の海の生物に焦点をあてて、地域の自然特性などを学ぶ。黒潮の影響を受けている紀伊半島枯木灘海岸は、串本町ではラムサール条約湿地としてサンゴなどの熱帯性生物が存在し、地形的には海岸段丘が発達して、崖にはジオサイトであるフェニックス褶曲が見られるなどします。波食台に多様な磯の生物を観察することで、黒潮による多様な自然について理解できるようになることを目標とします。			
【授業計画】			
第1回 田辺市ひき岩群周辺の自然 (高須(非常勤)・此松) ひき岩群の地形・地質を観察し、照葉樹の植生や他の生物を学ぶ。ふるさと自然公園センターも見学する。			
第2回 すさみ町江須崎、枯木灘(フェニックスの褶曲)周辺の自然 (高須(非常勤)・此松) すさみ町は枯木灘海岸で知られ、海岸段丘が発達している。ここでは江須崎で亜熱帯植物を観察し、黒潮の影響を考え、南紀波食崖のフェニックスの褶曲を観察し、付加体の堆積物について学ぶ。			
第3回 白浜町番所山での粘菌などの自然 (此松・高須(非常勤)・GS:川上 新一(和歌山県立自然博物館)) 自然環境が豊かな場所で、亜熱帯植物や南方熊楠の研究で有名な粘菌も観察できる。ここでは南方熊楠記念館も見学する予定。			
第4回 田辺市鳥巣半島の自然 (古賀・高須(非常勤)) 半島には照葉樹林が見られ、ため池が多く、びわなどの栽培が知られている。また天然記念物の泥岩岩脈が存在していることで知られている。干潮時にコアマモが現れる干潟には多様な生物が生息するので干潟生物の観察も行う。			
第5回 串本町のラムサール条約湿地のサンゴを学ぶ (古賀・GS:串本海中公園) 串本町の海では黒潮の影響を受けて、多様なサンゴや熱帯魚を観察することができる。そこで串本海中公園に入館して、ラムサール条約湿地である海の自然を見学する。			
第6回 白浜町番所山公園の磯生物 (古賀・GS:中野 智之(京都大学瀬戸臨海実験所)) 番所山公園の周辺には磯が発達しており、多くの磯生物や海岸植物が生育している。これらを観察して磯生物の多様性について学ぶ。			
【到達目標】 南紀熊野の沿岸の地形・地質、海岸植生(粘菌含む)、磯の生物を総合的に学び、自然度の高さ、人間が関与した里山の自然と比較して、保全すべき自然について理解できる。			
【成績評価の方法・基準(学部生のみ)】 各回でレポート課題を出して提出してもらう(90%)。受講生の現地での態度(質問や意見などのやり取り)10%で行う。			
【教科書】 特になし 資料は随時紹介します。			
【参考書・参考文献】 特になし。			
【履修上の注意・メッセージ】 各回ともフィールドでの観察を含みます。そのためそれぞれ最寄り駅の集合になります。最寄り駅、服装等、持ち物など詳細は南紀熊野サテライトホームページや事前にメールや郵送等でお知らせします。南方熊楠記念館や京都大学白浜水族館、串本海中公園の入園料等は有料で自己負担になります。また大学生では学研倍の加入、怪我等の対応のために保険料を徴収します。野外に出られない雨天の場合は、屋内での講義になる可能性があります。			
【履修する上で必要な事項】 特になし。			
【授業時間外学修についての指示】 南紀熊野地域の自然に関する情報などを、ホームページ等で調べて、事前にどんな生物が生育しているのか、どんな地質・地形をしているのかを予習しておいてください。			

授業科目名 (英文表記)	南紀熊野ジオパークの自然と風土 (Nature and spiritual features of Nanki Kumano Geopark)		
単位数	1 (学部生のみ)	授業形態	講義
担当教員	此松 昌彦、本郷 宙軌 (非常勤)		
開 講	南紀熊野ジオパークセンター (串本町)	区 分	学部開放科目
実施日・時間	第1回 6月17日(土) 12:50~16:50	第3回 7月1日(土) 12:50~16:10	
	第2回 6月18日(日) 10:00~11:30 12:50~16:10		

【授業の概要・ねらい】

南紀熊野には多くの地域資源がある。その中でも地形・地質をベースにした、生物、文化をとらえて固有な地域資源をアピールする南紀熊野ジオパークは、南紀熊野地域の地域資源の素晴らしさを学び、どんな価値があるのかを知るとしても大事なツールにもなっている。住民の皆さんが、自分の住む地域では高い評価を持つ自然・文化があることを知ることで、災害が時にはあるが、それ以上の守るべき価値のある自然や文化を守ることにつながる。

【授業計画】

- 第1回 南紀熊野ジオパークの風土(文化) (此松)、
南紀熊野ジオパークについて学ぶ「南紀熊野ジオパークの概要」「ジオパークセンター展示の見学」(本郷)
- 第2回 午前 橋杭岩周辺の地質・地形から学ぶ(現地見学) (此松・本郷)、
午後 南紀熊野の地形 (此松)、南紀熊野の地質 (本郷)、南紀熊野の災害 (此松)
- 第3回 南紀熊野の生物 (此松)、潮岬周辺の地形・地質 (本郷)、南紀熊野の産業 (此松)

【到達目標】

南紀熊野ジオパークの範囲で、特有な地形・地質があり、その上で生活する生物があり、さらにこの固有な自然の上に熊野信仰や歴史、文化が成立して、私たちの暮らしにつながっていることを知ることができる。

【成績評価の方法・基準(学部生のみ)】

各回でレポートを行う(3回で90%)。受講時の質問や意見などの対応で10%。

【教科書】

特にありません。授業時に資料を配布します。

【参考書・参考文献】

南紀熊野ジオパークのホームページにジオサイトなど参考資料がたくさんあります。その中に学校用の教材もあり、そちらも参考になります。<https://nankikumanogeo.jp/>

【履修上の注意・メッセージ】

南紀熊野ジオパークセンター(串本町)で授業を行います。また一部、フィールドでの講義を含みます。午前に和歌山・紀伊田辺・白浜発の特急くろしおに乗車すれば、串本駅からコミュニティバスで開講時間前に会場へ行けます。2日目の現地見学を含めて詳細は南紀熊野サテライトHPに掲載します。宿泊の必要な方は串本周辺で、各自でご予約下さい。1単位講義のため3日間とも必ず参加して下さい。

【履修する上で必要な事項】

特になし

【授業時間外学修についての指示】

本授業の授業計画に沿って、準備学習と復習を行ってください。南紀熊野ジオパークのホームページ等を読んできてください。

授業科目名 (英文表記)	地域経営資源論 (Local Management Resources)		
単位数	1 (学部生のみ)	授業形態	講義
担当教員	出口 竜也、竹林 浩志、此松 昌彦		
開講	新宮商工会議所 (新宮市井の沢3-8)	区分	学部開放科目
実施日・時間	第1回 5月20日(土) 13:00~17:00	第3回 7月29日(土) 13:00~17:00	
	第2回 7月8日(土) 13:00~17:00		

【授業の概要・ねらい】

南紀熊野は世界遺産をはじめ、南紀熊野ジオパーク、ラムサール条約湿地など、観光資源が豊富な地域ですが、著しく人口が減少している地域でもあり、長期的な存続が危ぶまれています。そこで、南紀熊野を持続可能な地域にするために、どんな地域資源を活用して振興をしていく必要があるのかを皆さんと考えていきます。この授業では、地域の特産物、地域の文化財、自然、風景、温泉、歴史上の出来事などを地域資源ととらえ、その経営のあり方について考えていきます。この授業を通じて、地域資源を発掘し、磨き上げを行うとともに、地域資源を組み合わせることで商品化する方法や、売りたい顧客に売りたい商品の情報を適時的確に伝える方法の基礎を学んでください。

【授業計画】GS：ゲストスピーカー

第1回 地域経営と地域商品の商品化 竹林 浩志 GS：山田 桂一郎氏 (JTIC. SWISS)

持続可能な地域を考えるために地域経営という考え方が重要になっています。その時に地域資源を商品化する技術が必要になります。

第2回 世界遺産である熊野古道を商品化する 此松 昌彦 GS：内山 裕紀子氏 (くまの体験企画)

三重県尾鷲市で熊野古道のコミュニティビジネスを展開している内山さんから、エコツーリズムの視点での地域の商品化を学びます。ワークショップもあります。

第3回 地域の商品情報をデジタル化して伝達する 出口 竜也 GS：永山 卓也氏 (ビジネスコンサルタント)

地域資源は磨き上げて商品化する必要があります。現在はDXの一つとしてデジタルマーケティングとして伝達することで、多くの地域外の人たちへ繋がり、購買する商品となる。伝わる情報の発信の方法などを学ぶ。

【到達目標】

持続可能な地域としての地域経営を学び、そのために必要な商品を開発し、地域にお金を落とす仕掛けを作れるようにすることができることを目標とします。

【成績評価の方法・基準(学部生のみ)】

各回ごとにレポート課題を課して提出してもらいます(30点X3回)90%、受講時の質問や意見交換での積極性10%で評価します。

【教科書】

特になし

【参考書・参考文献】

特になし

【履修上の注意・メッセージ】

新宮会場にて行います。対面講義です。

【履修する上で必要な事項】

講義だけでなく、課題を考えるワークショップ的なグループ学習を含みます。

【授業時間外学修についての指示】

南紀熊野地域資源としてどんなものがあるのかを調べておいてください。

授業科目名 (英文表記)	地域づくりの理論と実践D (Strategic regional/community management D)		
単位数	2 (学部生のみ)【通年】	授業形態	講義・演習
担当教員	大浦 由美、岸上 光克、阪井 加寿子		
開講	秋津野ガルテン (田辺市上秋津4558-8)	区分	学部開放科目
実施日・時間	下記「授業計画」のとおり		
<p>【授業の概要・ねらい】</p> <p>少子高齢化が進展する日本では、都市と農村との格差が拡大し、農村では“限界集落”が増加するなどの問題が起こっている。しかし、その一方で食の土台となる第一次産業の営みや農山漁村での暮らしに対する都市住民の関心も高まっている。そして、農村においても「地域資源の活用」「農工商連携」「都市農村交流」など様々な取り組みが進められている。なかでも、都市農村交流における「鏡効果」の存在は、農山村再生の手法としても大いに注目を集めている。本講座は、農業・農村の現状に対する「当事者意識」に裏付けられた深い共感と問題関心を有し、且つ新たな地域づくりの担い手として注目される「関係人口」を創出する上でのコーディネーターとしての役割を果たしうるホスピタリティ豊かな地域づくり人材の育成を目的として開講する。</p> <p>【授業計画(通年)】</p> <p>※授業計画については、詳細なスケジュールが決まり次第、ホームページ(南紀熊野サテライト：https://www.wakayama-u.ac.jp/kii-plus/nanki-kumano/)等で公表いたします。</p> <p>〈前期〉〈視座1：地域づくりの理論〉(土日開講)(土曜2講義+日曜1講義) ※以下同じ。 〈視座2：地域づくりとマネジメント〉 〈視座3：地域づくりと行政・農協の役割〉 ※9月中を予定</p> <p>〈後期〉〈視座4：地域づくりと交流・連携〉 〈視座5：地域づくりと担い手育成〉</p> <p>【到達目標】</p> <p>本学では「域学連携」の観点に基づく地域での多様な実践型教育・研究が行われている。本講義の受講者が、それら地域での実践的な学びを自ら深めていくことを期待したい。なお、本講義は江頭ホスピタリティ事業振興財団の「寄付講義」として開講されることから、受講者における地域での学びの質的変化やキャリア形成に与える影響等の教育効果の検証を行う予定である。</p> <p>【成績評価の方法・基準(学部生のみ)】</p> <p>毎回の講義への参加状況(リアクションペーパーによる理解度の確認：50点)と講義期間中に実施する課題(50点)の合計で総合評価する。</p> <p>【教科書】</p> <p>特に定めない(各回に必要な資料を提供)。</p> <p>【参考書・参考文献】</p> <p>岡田知弘「地域づくりの経済学入門(増補改訂版)」自治体研究社、2020年。その他については授業中で紹介する。</p> <p>【履修上の注意・メッセージ】</p> <p>本講義は秋津野ガルテン(田辺市)で実施する(田辺市までの交通費、宿泊費等は自己負担)。</p> <p>※本講義は開講を予定しているが、寄付講義(寄付金に基づき運営される講義)であるため、寄付金の交付通知(1月末頃)によって開講が正式に決定する。その決定については、あらかじめホームページ(南紀熊野サテライト：https://www.wakayama-u.ac.jp/kii-plus/nanki-kumano/)等で公表する(2月初旬～中旬)。この講義の受講を希望する場合は、正式な開講の有無を確認後、申込を行うように注意してほしい。</p> <p>※新型コロナウイルスの感染状況を考慮して、遠隔講義(オンライン授業など)を導入する可能性、または授業を中止する可能性がある。オンラインによる授業を行う場合に必要なパソコン、ネット環境は各自で準備する必要がある。</p> <p>【履修する上で必要な事項】</p> <p>地域づくりに関わる新聞記事やニュース等について日常的に目を通す習慣をつけて欲しい。</p> <p>【授業時間外学修についての指示】</p> <p>本授業の授業計画に沿って、準備学習と復習を行うこと。さらに、授業内容に関連する課題の調査・考察を含めて、毎回の授業ごとに自主的学習を求める。</p> <p>【授業理解を深める方法】</p> <p>観光学・農学・経済学・教育学等に係る基礎知識が求められることから、参考書等を通じて事前・事後学習を深めて欲しい。また、次回の視座冒頭で前回のリアクションペーパーに対する各講師のリプライコメントを返却し、学生が自身の学修到達状況を相対的に理解する機会を提供している。</p>			

郵便はがき

ここに
63円切手を貼付
してください。



住所	
氏名	様

⑦

※以下は大学側記載欄なので、記入しないで下さい。

令和5年度学部開放授業申請書類《前期》受付通知

- 【科目名】
- 南紀熊野の自然
 - 南紀熊野ジオパークの自然と風土
 - 地域経営資源論
 - 地域づくりの理論と実践D

あなたの令和5年度前期和歌山大学南紀熊野サテライト学部開放授業の申請書類を受付いたしましたのでお知らせいたします。

なお、授業開始案内(教室等お知らせ)は、授業開始日の10日前頃迄に郵送します。

〒646-0011 和歌山県田辺市新庄町3353-9-102
和歌山県立情報交流センターBig・u内
国立大学法人 和歌山大学南紀熊野サテライト

- 注) 1. 郵便番号、住所、氏名を記入し63円切手を貼り、申請書類を郵送時に同封してください。
2. 63円切手の貼付けの無いものは送付できません。
3. 申請用紙を窓口に持参する場合は、はがきの提出は不要です。

〈新型コロナウイルスへの対応〉

新型コロナウイルス感染拡大の状況に応じて、本募集要項の日程・内容等が変更される可能性があります。

詳しくは、和歌山大学南紀熊野サテライトホームページで確認してください。

〈気象警報発令時の授業の取扱い〉

授業会場の所在市町村(田辺市)に「暴風警報」または「大雨警報」が発令された場合は、発令期間中の授業は休止となります。

詳しくは、南紀熊野サテライトホームページを参照してください。

和歌山大学南紀熊野サテライトホームページ

<https://www.wakayama-u.ac.jp/kii-plus/nanki-kumano/>

〈個人情報の取り扱い〉

本学が保有する個人情報は、「独立行政法人等の保有する個人情報の保護に関する法律」等の法令を遵守するとともに、「国立大学法人和歌山大学における個人情報の保護に関する規程」等に基づき、厳密に取り扱います。

※なんらかの支援または情報保障が必要な方は、3月31日(金)までに南紀熊野サテライトまでご連絡ください。